

大気汚染物質 PM2.5の対応は

松竹 秀樹 議員

答 情報を市民へより早く伝える

問 大気汚染物質PM2.5の中国からの飛来の状況と汚染の実態は。
市長 1月10日頃、中国の北京を中心にPM2.5等による大規模な大気汚染が断続的に発生し、西日本で広域的に環境基準を超える濃度が一時的に観測された。
かんきよう課長 柳川市の観測結果については、基準を超える日が3日発生し、1時間あたり最大で81マイクログラムと



ホームページで公開されているPM2.5の測定状況

なっている。
問 人体への影響はどうなっているか。
健康づくり課長 気管支炎、ぜんそくのリスクが増加し、アレルギー症状を悪化させるとも言われている。
問 注意喚起が出た場合、市としてどう取り組むか。
市長 ホームページでPM2.5の状況が分かるようにし、コミュニティ無線や広報車で周知する。

市の玄関口はもっと明るく
問 羽犬塚駅前通りの街灯が暗いという市民の声があるが改善策は。
道路・水路課長 照明灯の所は明るいですが、街灯と街灯の間は暗いので、全体的に暗いという印象を与えている。
市長 都市計画マスタープランで、駅周辺を中心拠点に市の玄関口として都市機能を図る。



卒業後のサポートも必要

児童生徒の不登校等解消策は
井星 喜文 議員
問 不登校や長期欠席のまま中学校を卒業する生徒は、社会人としての基本的な資質を養う義務教育を十分受けずに未熟なまま社会に出る。これですべての児童生徒の居場所が学校となるよう努力したい。
教育長 教師は子供が自立するように、また学力の保障を第一に、昼間または夜間に、少なくとも

問 不登校のまま卒業する生徒数、不登校の原因、卒業後の生活実態は把握しているか。
学校教育課長 平成20年度30人、21年度16人、22年度22人、23年度9人、24年度も9人。理由も心理・情緒面など様々なケースがある。卒業後の生活実態は把握できていない。
問 人数の多さに驚いている。不登校の原因が学力不足という調査もある。在学中に限らず卒業後のサポートも必要では。
教育長 過年度生の高校受験、就職等相談があれば対応している。

答 児童生徒の居場所が学校となるよう努力している
 不登校や長期欠席のまま中学校を卒業する生徒は、社会人としての基本的な資質を養う義務教育を十分受けずに未熟なまま社会に出る。これですべての児童生徒の居場所が学校となるよう努力したい。
問 不登校のまま卒業する生徒数、不登校の原因、卒業後の生活実態は把握しているか。
学校教育課長 平成20年度30人、21年度16人、22年度22人、23年度9人、24年度も9人。理由も心理・情緒面など様々なケースがある。卒業後の生活実態は把握できていない。
問 人数の多さに驚いている。不登校の原因が学力不足という調査もある。在学中に限らず卒業後のサポートも必要では。
教育長 過年度生の高校受験、就職等相談があれば対応している。